



2024年3月19日
NSユナイテッド内航海運株式会社

尻屋岬/室蘭航路のセルフアンローダー石灰石専用船“下北丸”竣工について

2024年3月19日、広島県福山市の常石造船株式会社殿において、日本製鉄株式会社殿、日鉄セメント株式会社殿向け石灰石専用船「下北丸」が竣工致しました。

本船の特徴としては、国内初の天然ガス専焼主機と2,847kWhのリチウムイオンバッテリーを搭載し、LNGタンクには日本製鉄株式会社殿が開発した「LNGタンク用7%ニッケル鋼板（注1）」を船用タンクとして初めて採用しております。巡航時には川崎重工業株式会社殿が開発した天然ガス専焼エンジンにて推進力と船内電力を供給し、バッテリーへの蓄電を同時に行います。また、入出港時や停泊時は蓄電されたバッテリーより推進力と船内電力を供給しゼロエミッション運転を実現します。

本船の推進システム導入によりCO₂排出削減効果は、従来の同型船と比較し、23.56%（常用出力時約30%）となり、天然ガス専焼エンジンの排気ガス中にSO_x成分は殆ど含まれず、NO_x排出量は3次規制値を大きく下回ります。さらに主要航路の積地 尻屋岬港（青森県）と揚地 室蘭港（北海道）では、地球環境にやさしいゼロエミッション運転を行います。また、乗組員の労働環境向上や今後の女性船員活躍などを考慮し、各居室にユニットバス、トイレを装備し、快適な船内生活を送れるよう配慮した設計になっています。

（注1）7%ニッケル鋼板は、最先端の生産技術を駆使した経済性に優れた極低温用鋼板であり、日本製鉄株式会社殿では2014年以降、日本海事協会殿より製造法承認を順次取得しました。日本製鉄株式会社殿の7%ニッケル鋼板の本船への適用については、日本海事協会殿のご支援のもと、国土交通省殿より代替設計として承認されました。これにより、日本製鉄株式会社殿の7%ニッケル鋼板は国際航海に従事しない船舶に広く使用可能となりました。



【下北丸 主要目】

総 ト ン 数： 5, 154トン

載 貨 重 量： 5, 646トン

主 要 寸 法： 全長93.78m×幅18.20m×深さ9.90m

航 海 速 力： 約12.3ノット

<お問い合わせ先> 営業一部 TEL 03-6895-6536